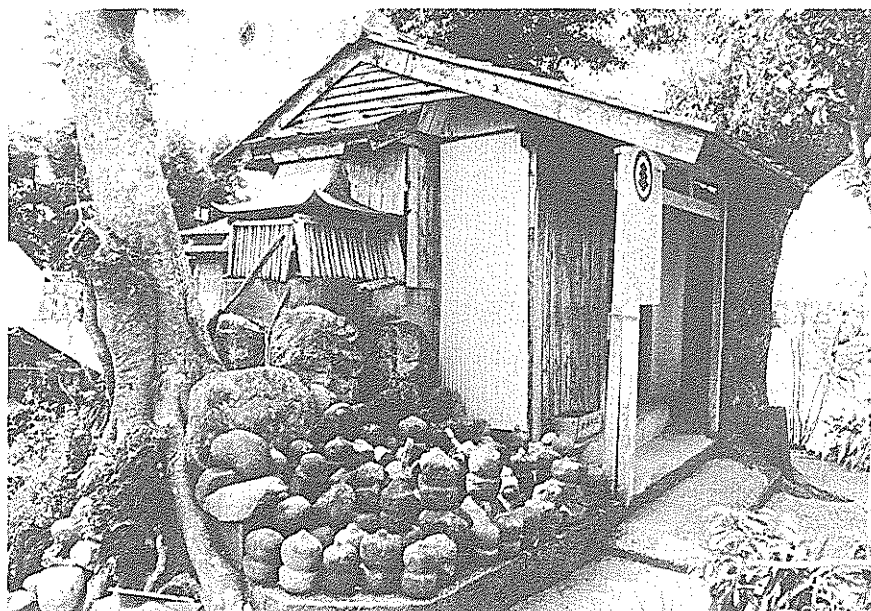


文化財をたずねて⑦

《阿波塚》



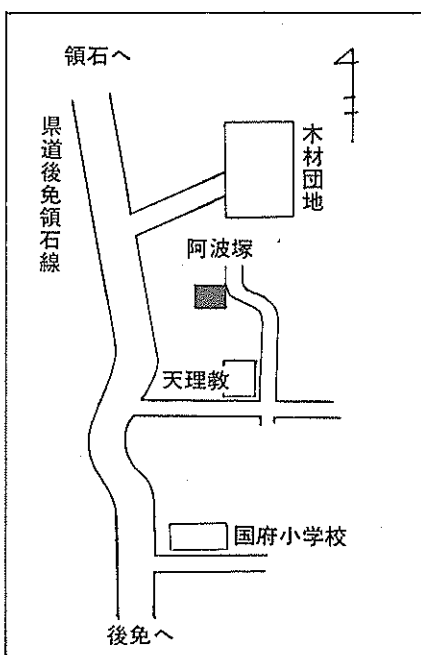
阿波兵の霊が祭られている比江の阿波塚

長宗我部七代兼光のころは、まだ勢力もさほどではなかった。このころ豊永には、小笠原左近大夫という大豪族があり、阿波の一部まで領地とし、折があったら土佐の南方平野地帯に進出しようという好期をひそかにうかがっていた。時を得て、阿波勢を配下にして南に下り、国分の北平宮の檍の畝に陣をととのえ、岡豊に向かつて進撃を開始した。守戦一方の兼光は、日ごろから信心する八幡宮の社前に戦勝を祈願した。すると不思議にも、お宮がバツと明るくなって、一振の金の鈴が飛びだし、小笠原勢の陣の上を縦横無尽に飛びまわった。寄せ手の阿波勢は、おじ恐れて、ただひれ伏すばかりであった。

岡豊勢は、時をおかずに追撃し、至る所で阿波兵を討ちとった。中でも、平宮の戦いは激烈をきわめ、見るまに阿波兵の死骸で山ができた。戦いが終って、これを集めて埋葬したが、これを阿波塚と呼んだ。

阿波塚には、いろいろの異変が起つたので、長宗我部氏でも捨ておけず、祠堂を建て調伏をはかった。平宮の旧官道の西側雑木の下に、方三尺ほどの古堂があるが、これが阿波兵の霊を祭る阿波塚である。付近には、石の地蔵や石仏が立っている。しかしこの塚にまつわる怪奇な話は、その後もあとをたたなかった。

永禄年間のことである。長門の国壁雲寺の高僧通安が、土佐の山野を行脚して、法力を見せているのを知った元親は、魂鎮めの法会を行なったところ、怪異な事件はたと止んだという。

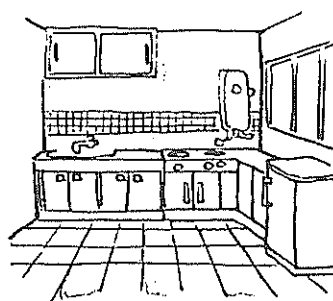


最初、父は井の沢から比江まで祭りに行っていました。昭和二十九年ごろに、阿波塚の隣に引越し、祠には小屋を作り直した。それから亡くなる昭和四十八年まで、ずっと世話をし、たくさんの人との相談のついででした。そもそもこの塚は、戦死した阿波兵千人の墓で、石仏は位の高い武士のもの、他の者はただ小さな石を積み上げただけだったそうです。

梅雨時の台所は

清潔に!!

普及所から—⑧



台所は、いつも清潔にしておかなければなりません。梅雨時は特に衛生が気になります。今一度、主な台所用品の手入れの仕方をチェックしてみましょう

①冷蔵庫

冷蔵庫の中は、意外に汚れがひどい所です。週に一回くらいの割合で、残り物や、入れたまま忘れていた物などの点検を兼ねて掃除をしたいものです。

庫内を、台所用の中性洗剤溶液でふき、あと水ぶきをします。ホウロウ仕上げのものは、消毒用アルコールでふくと殺菌の効果もあります。

②まな板

プラスチック製、木製いずれも使用後は台所用洗剤溶液をつけてたわしでよく洗い、熱湯をかけます。暗れ間をみては戸外で日光に当て、内部まで完全に乾かすことが大切です。

③ふきん

ふきんは、なるべく多くの枚数を用意して、使ったあととはまとめて洗い、なるべく戸外に干すようにしたいものです。

今月の納税

県・市民税(1期分)
国民年金保険料(6月分)

(国民年金保険料は、今年度から毎月納付です)

納期限は、6月30日(水)です。

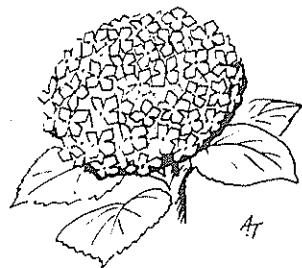
時々、せっけん液で煮洗いをするか、漂白剤溶液に浸けて殺菌と漂白をしましょう。

④スポンジ・たわし

スポンジやたわしは、意外に不潔なものです。使ったあと、よく水洗いをし、十分水切りをしてお

くことです。

また、時々ふきんなどを漂白したあとの液に浸して殺菌しましょう。できれば、スポンジより水切れのよいサラシなどを使うことをおすすめします。



6月

1年中で最も雨量の多い6月。南国土佐では、スコールのような雨が地面をたたきます。

私たちにはうつつとおいしい雨も、植物にとってはめくみの雨となり木々は、みずみずしい緑をいっそう増してきます。

梅雨時の花といえば、アジサイとハナショウブ。ともに白や青紫色の色合いがとても美しく、身近に咲く花として私たちの心をなごませてくれます。

1日は、物部川のアユ解禁。待ちわびた太公望たちは、前日から用意万端整え、朝早くから出漁します。アユはとても環境に敏感な魚で、清流のバロメーターとも言われます。いつまでも、アユが住めるような美しい河川を守ってゆきましょう。

4日からは「歯の衛生週間」。虫歯と同様、歯そうのうろうも多くなっています。食後には必ず歯みがきを、ついでに歯ぐきのマッサージも忘れずに。

10日は「時の記念日」。日本人は機械のように、時間に正確によく働くと言われます。しかし高知県では「土佐時間」と言って、ルーズな時間がまかり通っています。また市民の声には、市職員の勤務時間がきちんと守られていないという厳しい批判が多いようです。職員の皆さん、えりを正すところはきちんと正し、時間厳守を。

22日は「夏至」。雲にかくれて見えなかった太陽がそろそろ顔を出し、本格的な「夏」。到来はもうすぐ。